

第7回GX実行会議への意見

日本商工会議所会頭 小林 健

(1) 「成長志向型カーボンプライシング構想」の具体化・実行について

- 先般、「GX実現に向けた基本方針」を踏まえ、「脱炭素成長型経済構造移行推進戦略」(GX推進戦略)が閣議決定されたことを歓迎する。
- 2028年の炭素賦課金導入が明示される中、エネルギーの需給ひっ迫および価格高騰が続き、コストダウンの観点から省エネ・CO2排出削減に対する中小企業の意識・関心は着実に高まっている。
- 中小企業も含めた確実な排出削減と競争力強化を力強く推進するため、「投資促進策」との効果的な組合せによる「成長志向型カーボンプライシング構想」の早期かつ着実な実行を期待する。

(2) 「投資促進策」の具体化について

- 政府による20兆円規模の「投資促進策」については、今般その具体化に向けた方針が提示された。
- 排出量の多い部門の一つとされる「くらし関連部門」のGXは、建築物や自動車等、中小事業所にもそのまま当てはまる内容も多く、また、サプライヤーとしての中小企業のビジネス拡大も期待される。地方・中小企業の幅広い取組みを促すべく、設備投資等への大胆な支援に期待する。
- 他方、「産業部門」のGXは大企業による取組みが中心となるが、支援対象選定の際は、スタートアップや中小企業との協業など、裾野の広いサプライチェーン構築につながる取組みを重視されたい。

(3) GXリーグと排出量取引について

- 日本全体での排出削減を考えれば、GXリーグ参加企業を中心としたサプライチェーンにおける排出削減が重要となる。中小企業においては、大手企業から排出量の測定・削減の依頼が増えているとの声もある中、排出削減を進めるための人材や技術・ノウハウ等の面で、大企業と中小企業のより一層の連携・協業が進むことを期待。

以上